

令和5年11月25日

<佐々木 朗>

水谷先生の講演（平成5年度思春期保健講演会）のまとめ

日時 令和5年11月25日土曜日 14時～16時

場所 函館市中央図書館視聴覚ホール

演題 思春期の子どもたちを取り巻く状況と私たちにできること

～夜回り先生命の授業～

講師 水谷青少年問題研究所 水谷 修先生

主催 函館市共済函館市教育委員会・函館小児科医会・函館産婦人科医会

函館性と薬物を考える会

後援 函館市性教育研究会

水谷先生のお話

今朝、JALで飛んできました。雪のため、青森の上空で一周して様子見をしていたので、降りられるかどうかいやな予感がありました。今日はこれで良かったです。私を見て、実物はどうでしょうか。ちょっと頭が白くなっています。67歳になりました。でも普通の67歳ではありません。全く違う世界で30年間生きてきました。皆さんは昼の世界で生きてきましたが、私は夜の世界で生きてきました。

夜間定時制高校は戦後子供たちが学校に行けないということで建てられましたが、昭和50年頃からは9割は全日制の学校に通い、夜間の必要はだんだんなくなってきました。当時は、中学校で暴れ回ったこの最後の砦でした。私が勤めた夜間定時制高校は生徒数が800名ほどいました。バイクが廊下を走り回っていました。授業中覚せい剤をやる。泥棒強盗、ビデオ泥棒で授業中、警察が入ってくるそんなこともありました。

定時制高校は教育委員会から見ると付録

令和5年度 函館市思春期保健講演会

思春期の子どもたちを取り巻く 現状と私たちにできること

～夜回り先生、いのちの授業～

みずた におむ

講師 水谷青少年問題研究所長 水谷 修 さん

上智大学文学部哲学専攻。夜間市にて、長年高校教員として勤務。12年間定時制高校で過ごす。教員のほとんどは特別、生徒指導を担当し、中・高校生への非行・薬物汚染への問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動に携わっている。また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている深夜の警備員のアルバイトを通して、多くの若者たちと出会い、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。一方で、全国各都府県のスクールや福祉による様々な子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。その現場での経験をもとに、専門誌や新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオなどへの出演、日本各地での講演などを通して、子どもたちが直面している様々な問題について語っている。

日時 令和5年11月25日(土)午後2時～4時(受付 午後1時半～)

場所 函館市中央図書館 視聴覚ホール 定員140名(申込み順)

申込方法 QRコードを読み取り、申込みフォームに必要事項を入力し、お申込みください。

申込期間 令和5年10月2日(月)～11月15日(水)
※10/2 午前10時～申込み開始します。
定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。

【主催】 函館市
【共催】 函館市教育委員会 函館小児科医会 函館産婦人科医会 函館性と薬物を考える会
【後援】 函館市性教育研究会

函館市子ども未来電子図書館(月～金 8時45分～17時30分 土日を除く)
TEL 0128-22-1522 FAX 0128-22-1508
Eメール: shisyunki@city.hakodate.hokkaido.jp

みたいなもので、教員数も減らされ、教員数はとても足りませんでした。800名の生徒を30名の教師で面倒を見なければなりません。

今の定時制高校は違います。今は小中学

校をまともに通えなくて不登校になった子、また外国から来ていて日本語が不自由な子、障がいを抱えた子が多く通っていて、暴れるような学校はほとんどありません。

1996年から2004年まで夏休みの後半よく函館に来て夜回りをしました。当時はシンナー覚せい剤などが横行し、二つの組を潰しました。函館市内はとても酷かったです。私は函館の全部の高等学校を回りました。渡島管内もだいたい回りました。夜に出かけ、子どもたちに「取るよ」といいました。「取る」というのは補導の意味です。そして家に帰しました。当時函館市内には繁華街にはエッチな看板ばかりありました。私ははがし、警察に届けました。子どもたちには「お母さんの顔を思い出せ。」と言いました。ドラッグをやっている子には、「行く先は病院か、刑務所か、土の中だよ。やめようと思ったら、いつでも連絡しなさい。」と伝えました。17人ほど保護しました。しかし、2人ほど自殺してしまいました。

夜眠らない子を昼の世界に戻すのが私の仕事でした。私は35年前までは真っ当な教員でした。高等学校の社会科の教師でした。吹奏楽も受け持っていました。

なぜこのような荒れた定時制高校に行くことになったのかをお話しましょう。35年前の12月のことでした。私の同僚から電話がありました。暗い声で「学校の先生なんか辞めてやる。」私は、「今辞めたら何にもならない。」と言って、会う約束をしました。午後9時お寿司屋さんで会いました。そしていっぱい飲みました。刺身の盛り合わせも食べました。その先生は「腐った魚で旨い寿司が作れるか。腐った生徒たちを相手にしていい教育はできない。」と言いました。

私は、「いい加減にしろ。腐った子なんているか。どんな赤ちゃんも一生懸命生きようとする。誰が腐らせたか。それは社会だろう。それを直していくのが教育だろ。生徒を腐った奴などというやつは先生を辞めろ。」と言いました。ということで私は教育委員会に無理やり頼み夜間高等学校に配置転換させてもらいました。

私は子どもたちと会う前の春休みに、たくさんの教材を作りました。ところが教壇に立ったとたん作ったものが全く役に立たないことがわかりました。私は生徒たちに「3分でいい、先生の話聞いてくれ。」と言いましたが、生徒たちは私の話に全く耳を傾けませんでした。教室から出て行ってしまう子もいました。私は生徒と付き合うには、生徒のいる場所に行くことが大事だと思いました。私の夜回りの始まりです。

不登校の生徒が4人いました。私は各教科担任の先生に授業のプリントを作ってもらいました。私は教科担任の先生からもらったプリントを持って、その子たちの家を回ってやらせました。「やったら出席してやる。」と言いました。そんなことが毎日続くと子どもたちの方から「頼むからもう来ないでくれ。俺に不登校もさせてくれなかった。」と言っています。

口で軽々しく愛しているなどと何回も言うとかえって何か裏があるのではないかなと考えてしまいます。愛は言葉で伝えるものはありません。向き合って生きて行く中で、積み重ねられるものです。その子のそばにすることが大切です。ですから毎晩回るしかありませんでした。新宿、横浜などを回りました。今は5600校以上の学校で講演しています。私が夜回りをしていない街は

おそらくないと思います 私には水谷党というのがあります。私と関わって立ち直り屋の世界に戻った子たちが私に協力してくれるのです。私は今、147名も捨てられた子を3つの施設で預かっています。その施設は国や地方からもお金をもらっていません。というのは公共の施設は18歳になったらその施設を出なければならない仕組み(4月からはそれが22歳になりました)なのです。私は、「いつでも帰って来ていいよ。」といえる施設にしたかったのです。私は農場を持っています その農場長800名の暴走族のリーダーでした。今はバイクを畑のトラクターに替えて子供たちの指導に当たっています。その施設に行くと、「先生の本は何回も見ましたよ」と言う子供がいました。私はすぐにわかりました。法務省に施設に入ると、必ず私の本を読まされるからです。その子は、「この施設は怖い。」と言っていました。なぜかというリーダーたちはみんな刺青のお兄ちゃんだからです。

2000年頃になると全く新しい問題が起こってきました 福岡の高校で講演をした時です 公演が終わるとある子が、「水谷先生、私の話を聞いてください。」と寄ってきました。顔色も良くて、身なりもきちんとしていて、私が全くかかわることがなかったような子でした。校長室で向かい合うとしばらく黙っていましたが、やがて泣き始めて、「助けて。」と自分の手を見せました リストカットでした 私はリストカットをしたのを初めて見て、愕然としました。暗い部屋で明日を見失っている多数の子がいます。今は百万人を超えるといっています。函館も全国の1.7倍ほどいると言われていました。リストカットをする95%は女子です。

男性のリストカットはとても手のつけにくいものです。腕の表の方をカットするのは「かまってちゃん」包帯やサポーターなどをして、自分に気づいてほしいとサインを送っています。腕や足の付け根などを切ることがあります。手の中側を切るのは血管まで行く可能性があるため病院レベルになります またオーバードーズと言って多量に薬を飲む場合もあります。そのような暗い部屋に閉じこもっている子に対して、私は永遠に会えないことになります。そこで私はテレビのドキュメント番組を作りました。函館の本町のシーンも20分程入っています。TBSでドラマを作りました。そして私は研究所を作りました。107万通のメールがあり、57万人と相談しました。リストカット、薬親からいじめられるなどの相談があります。一番電話多いのは何時頃だと思いますか 深夜0時頃から午前3時頃なのです。公的機関はそのような時間をやっていません。ですから役に立たないと思います。「水谷先生がきちんと話を聞いてくれると頼ってのメールです。こちらも身分明らかにして 真摯に心を開いて対応しています。時には警察や相談所等とネットワークを組んですることもあります。一人の命も落とさないようにする。それが目標でしたが、残念ながら私に対応する直前に自らの命を絶った子もいました。私は肺癌のステージ4で7回の手術を受けています。あと命がいくらあるかわかりませんが、夜の世界にとどまっていたと思います。

入学式で出会った子の話をします その子は入学式で入学式に着たときもうフラフラしてシンナーの臭いがしました。「入学おめでとう。でもアンパン吹いているな。」私

は、そこ子を夜 10 時に家まで送っていきま
した。6 畳 1 間で、母子で貧しい暮らしを
していました。お母さんに聞いたところ、
お父さんは暴力団に刺され、即死したとい
うことです。その子は小学校 3 年生 4 年生
の頃は学級委員もやるほどでした。その子
が友達から、遊びに来ないかと誘われても
行くことはありませんでした。それは友達
の家に遊びに行けば、今度は自分の家に呼
ばなければならないです。

ある時母が病気になりました その子が
お母さんを守らなければならないのです。
電気なども止められました。一番困ったの
は食べ物でした 近くのコンビニで見つかる
のは嫌なので遠くへ行って捨てられるもの
をもらうこともありました。一番良かったの
は給食をもらうことです。給食のおば
ちゃんに、「犬を飼うから。」とってその犬
の餌として、パンや牛乳をもらうことにし
ました。ところがそのことがいじめっ子に
気づかれました。その日、給食室に行く
と休んだ子が多かったので、パンや牛乳が
いっぱいありました。喜んで給食室を出ると
7 人のいじめっ子たちに囲まれました。「それ
どうするの。」「犬にやるんだよ。」「犬なん
かいないだろ。お前のうち貧乏だから、食っ
ているんだろ。」と言い、その子たちはパン
も牛乳もぶちまけて 足で踏み潰しました
どろだらけになったパンを袋に詰めて持ち
帰りました。アパートに着くと、隣の部屋
のおばあちゃんの所へ行って、ガスと砂糖を
貸してもらいました。パンの汚いところを
取って、牛乳で温めて、甘くて美味しいフ
レンチトーストを作りました。お母さんには
「本当はフレンチトーストには卵が入って
いるんだけどね。」と言いました。その

子の相談に乗ってくれたのは同じアパー
トに住んでいるやはり暴力団の総長のお兄
ちゃんでした そのお兄ちゃんが私にその子
の様子を教えてくださいました。今まで何
度も「シンナーをやめようとしたけれど、
やめられないです。「そうだと暮らしたら
どうだろう。」ということで、やってみる
ことにしました一日いっぱいいけば大丈
夫。その子は私と一緒に暮らして完璧に、
シンナーを辞めることができました。でも、
帰って家に帰って 3 日もしないで元に戻
ってしまいました。やめられなかったの
です。体が勝手に動いてしまい、気がつ
いたら吸っていたということです そんなこ
とが三か月続きました。何回も何回も繰
り返されるので私もちょっと、嫌になっ
てきました。その日、私は嘘ついて「今日
はダメ。警察と見回りに行くから」と言
って無理矢理帰ってしまいました。その子
が最後に言った言葉は「水谷先生今日は
冷たいぞ。」でした。その数時間後、彼
は自らダンプカーに飛び込んで行きました。
ダンプカーのネオンに惹かれたのかも
しれません。病院に着くとお母さんが泣
きながら病院の先生に「息子に会わせ
てください。」と言いました 病院の人
たちは 必死に止めています。「私が見
てきます。」と言って処置室に入りました。
服を全部脱がせて、シャワーを浴びせて、
血を部流しました。体はだんだん冷た
くなってきます。頭もぐちゃぐちゃな
ので中に手を入れて膨らませて頭の形
にしました。鼻はダンボールでそれらしく
作りました。そして包帯でぐるぐる巻
いて、その後、お母さんを呼びました。

2 日後に通夜を行ないました お母さんと
私で交互に線香をあげました。追悼するとい

うことで、暴走バイクもたくさん来ました。バイクが停まると少年たちは花を置いて行きました。バイクの子どもたちが帰るとお母さんは、「人殺し、人殺し。」と言いながら一束一束取って足で踏みにじってきました。朝までかかりました。火葬場には、お母さんと私の2人で行きました。シンナーはにくいです。その子を二度殺しました。1つ目は命、2つ目は骨まで殺したのです。火葬ると一発でわかります。シンナーは脳と歯と骨を溶かします。一本の大腿骨と思われる骨がありました。お母さんと2人でそっと持ち上げようとしたが、すぐに粉々になってしまいました。お母さんは泣き叫びました。私とお母さんの四つの手で灰をかき集めて骨壺に入れました。すると火葬場の人が「これを使ってください。」とちりとりをくれました。そんな経験もありました。

私は薬物が専門のセルニア病院を訪ね、金子ドクターと会いました。先生は、「水谷先生、あんたがその子を殺したのですよ。あなたは薬物を愛で治そうとした。でも42度の熱を出している子を愛で治すことができますか。それは治療をしなければならないのです。」と言いました。

今薬物の専門家はとても少ないです。ドラッグの特徴は二つあります。一つはやると辞められないです。依存性があります。あなたを愛している人がタバコを吸っていたとしましょう。「私のこと、愛してるいるならば、タバコをやめて。」って言ったらタバコはやめられるでしょうか。なかなかやめられません。それが増して、ヘロインやコカインはその何千倍も依存症が強いのです。2つ目は、やると捕まります。禁止されたり制限されたりしています。日本には薬物の

関する法律が5つあります。

日本は薬物に関しては世界でも厳しい方です。しかし諸外国ではもっと厳しいところもあります。死刑に薬物を持っているだけで死刑になることもあります。こんな話があります。一緒に旅行に行って、お土産をもらって、「先に帰っていてね。」と言われて、それが実は覚せい剤だったことがあります。

私は南京のスタジアムで薬物に関わった人が処刑される場面を見ました。杭が11分あり、刑を受ける者は、後ろ手に手錠をかけられ、黒い袋かぶせられて、杭につながれます。3人の執行官がライフル銃を持って。1つは弾丸が入っていてあと2つは空砲です。3人で同時に打ちます。最後に、主担当者がこめかみに一発打ち込んで処刑を終えます。

それから、医者がかかる処方箋で出た薬を他人にあげると、薬事違反となります。日本人は、薬は病気を治すものと思っているようですが実は薬は毒なのです。皆さん市販の錠剤やカプセルを飲んだことがあるでしょう。口で噛んで飲んだり、カプセルを開けたりして飲んだりすることはありますか。それらの薬は胃の中で表面が溶けて腸に行った時にちょうど薬の成分が出るように作られているのです。ですから噛んで飲んだりすると、胃に毒を回すようなこととなります。

それからサプリメントもあります。十代の子供たちがサプリメントの力を覚えたら自然にの食べ物で取ることはできなくなります。学校には、学校薬剤師がいます。もっと、栄養指導などを頑張っ欲しいと思っています。

おじいちゃんおばあちゃんに聞きます
孫さんの前で薬を飲んだことがあるものは
ありますか。薬を並べている途中にトイレ
に行ったとします。小さい子にとっては赤
い、ピンクのマールチョコレートに見え
てしまいます。食べてしまうのです。そして
それがトイレから帰ってきて薬がなくなっ
てると、「さっき飲んだのか。」と錯覚してし
まうことがあります。誤飲で 89 人の子ども
が亡くなっています。欧米の人は人前で
薬を飲むことは絶対にありません

みなさんの家の事を思い出してください。
子供を褒める言葉としかる言葉とどっちが
多いですか。家は子どもが安らぐ場になっ
ているでしょうか。バブルの時代はたくさ
んのお金をつぎ込んで遊びを覚えました、
1991 年にバブルが崩壊すると、それまでの
きちんと働くと家が持てる。そしてその家
から娘を嫁に出してやろう。そんなことが
だんだんできなくなってきました。その後
少し景気は回復しましたが 2000 年になっ
て 金持ちはどんどん金持ちになり 中流家
庭は取り残されてしまいました。就学支援
制度というのをご存知でしょうか。今 6 人
に一人がその修学支援の制度を受けていま
す。全国的に 17%ほどいっています。高知沖
縄などもですが北海道も多い方です。今子
供食堂などを行って、社会全体で子供を守
ることをしています。

社会全体がイライラして、お父さんがお
母さんにそのイライラをぶつけ、お母さん
もイライラして子どもに当たることありま
す。国民の 大人の 7 割は 切れやすいと言
われています。特にキレやすいのはアラブ
人だそうです。イスラム教の教えがそうだ
そうです。逆にいつまでも優しくできるの

はインド人だそうです。何回も何回も洪水
で田畑を流されても耐える。それが仏教の
教えだそうです。

いらいらを解消するため、7 割の子ども
はいじめでガス抜きをしています。いじめ
ている子の家庭を見ていかなければなりま
せん。いじめをしたこと子を学校に来させ
ないということはいじめの解決にはなりま
せん。いじめている子も実はいじめられて
います。そして いじめられている心優しい
子は心を閉ざしてしまいます。もっと優し
い子はリストカットをしてしまいます。明
日から一日中子供を褒めてあげましょう。

私は函館の小中学校で臨時職員会議を開
いてもらって、こんなことを決めてみたら
と思います。「一日十回は子供を褒めるよう
にする。」子どもはほめられると目の輝きが
違ってきます。

今、6 人に 1 人が心が病んでいる文明社
会となっています。心と体が一緒になっ
ていないのです。文明社会で、ネットなど
で、体は動かさなくても、心がいろいろ使われ
ます。今は移動にも車や電車があるから体
は心の使われ方に比べると少ないです。心
と体は一体化しています。体調が悪いとい
いことを考えられません、失恋したりする
と病気になったりします。ですから現代は、
もっともっと体を使わなければならないと
思います。ラジオ体操でもいいですし、学校
では校庭を五周、回るとか運動させると不
登校は減ると思います。また、偏差値も上
がると思います。心の病は体からで体を丈夫
にするのが最良の方向です。

今ケータイメールインターネット ゲーム
などがやっています。あんなもので愛や
友情を伝えられることはできません。18 歳

以下の子は夜の9時から朝の6時まですべてを禁ずるようにしたらいいと思います。人間は800年万年ほど前に猿から分離しました。人間は昼の生き物なのです。夜は寝る時間なのです。それなのにしなくていいコミュニケーションをしているのです。夜の活動はあまり効果的ではありません。皆さんはラブレターを書いたことがありますか。夜に書いて朝に読んだらとても渡されるようなものではなかったというような経験もあると思います。

私はずっと生徒指導部長をしていましたが、その前に教員指導部長だといっていました。トイレはいつ障害者が来るかわからないので、奥から使う。机の上はいつでもきれいにする。掃除も先生が率先して行う。そういうように子供の前では、きちんと見本を見せることが大事です。

携帯なども、週のうち使わない日を作ったらいいと思います。これも大人も見本を見せるといいと思います。久里浜にゲーム専用の療養所があります。依存症の子が、入院しています。依存症は週に2回その世界から離れるとだんだん治ってきます。パチンコ競馬どっちが依存症になりやすいと思いますか。競馬はやってない日もありますね。パチンコは毎日できますね。ですからパチンコの方が依存症になりやすいということになります。

私は講演をする時、必ず愛ちゃんという中学校3年生の時に会ったこの話をします。その子にはお姉ちゃんがありました。そのお姉ちゃんはとてもできる子でした。親は、「お姉ちゃんができにあんたそんな学校も落ちるなんて。」と罵りました。「あんたは誰の子なの。」そんなことで、愛ちゃんは夜の

世界にデビューしてしまいました。強姦されたこともありました。覚せい剤も打たれました。体も奪われました。ある時、病気にもなりました。微熱が出て、体が痛いと言いました。でも2週間で治りました。多分エイズの自覚症状だったのでしょうか。その子は1000名以上の男と夜を共にしました。「自分の生きることは復讐。」であると思っていたのです。保護された時は、高校2年生。エイズが発症しました。今は対抗薬でいくらか症状を止めることができますが、当時は難しかったです。「会いに来てほしい。」という愛ちゃんの言葉にも、体が変わり果てたということを知って会いに行くのがとても辛かったです。でも愛ちゃんは水谷先生と写った写真を毎日胸に抱きしめているということを知り私は、愛ちゃんのいる病院へ行くことにしましょう。出会った時50キロあった体も今20キロを切っています。体中発疹だらけ。動くか動かないですがゆっくりと手を差し伸べて私の手を握り締めてこう言いました。「水谷先生お願いがあります。愛のことをすべての講演で話してほしいのです。私のようなバカな女の子がいたということをお話してくれませんか。夜の世界で、体を売って、悶え苦しんで気づくのが遅くなってしまったこと。それからもう一つ。夜の世界ははかないこと。お互いの足を引っ張り合う事。幸せな世界は昼の世界にあるということ。」

愛ちゃんはもう助かりそうもありません。モルヒネを注射して少しずつ体を弱めながら眠るように亡くならせるような治療をしていました。ところが亡くなるはずの時期になっても愛ちゃんは亡くなりませんでした。それはドラッグを飲んでいたので薬に

対する免疫があったのです。地獄のような苦しみを迎えていました。亡くなる前の日、目を見開いて、「先生助けて。死にたくない。」と私を睨んで死んでいました

私は愛のことを一冊の本にしようと思いましたが それまで13年 かかりました 私も肺がんのステージフォーになったりして7回も手術を受けております。やっと本を書くことができました。

大人は子供に対して 見て見ぬふりをしてはいけません。子どもは好き好んで夜の世界に入って行くわけではありません。昼の世界で、明るい学校生活を 送って欲しい。子供を良くしたいと思ったらまず大人が変わること。まず自分の子、自分の孫を大切にすることから始めて欲しいです。

感想

私が水谷先生の話を聞くのはこれで3回目です。がんばってメモを取りましたが、まだまだ、伝えきれないところもいっぱいあります。

家でも家庭でも、人間と人間がいるのですから、時にはぶつかることもありますし、嫌な思いをすることもあると思います。私は学校では、どんなに叱られても、友だちと喧嘩をしても、帰るときには「先生、さようなら。」って子どもが笑顔で帰ることができるように気配りました。

水谷先生もおっしゃっていましたが、生まれつき悪い子などは一人もいません。育った環境が、子どもを幸せにも不幸にもするのです。「親ガチャ」などという半ばふざけた言葉が流行語になっているようですが、子どもは地球の財産であるということを、すべての親が、すべての大人がもう一度し

っかりと認識することが大切なことだと思います。

それと、子どもは、子どもですから、心が折れそうなときは、必ずサインを出します。よく見ると大人は必ず気が付くはずですが、また、子どもは「気づいて。」と必死に表してきます。それに気づいてあげてほしいですし、万が一にも気づいても、スルーしてしまうようなことは避けたいです。

SNS のことも話題に上がりました。そうです。真夜中までコミュニケーションする必要などないのです。また、文字に感情を込めるのはあまりにも危険すぎます。こちらが意図したことと全く違う受け止めをし、それが、トラブルのもとになってしまった事例も数多く知っています。テレビ会議時代ですが、本当に大切なことは、人と人とが会って、会話をし、対話することだと思います。

私は、コンピュータを使った教育の第一線を走ってきましたが、若いころは、情報社会がこのようなゆがみをもたらすことは予想していませんでした。便利さと裏腹に、恐ろしさがあることを、大人は今一度きちっと知る必要があります。子どもにケータイを持たせるということは、どんなことなのか、どんな約束をして持たせるのかを、しっかりと話し合うことが大切です。最悪ケータイで身を亡ぼすことにもなります。水谷先生の言う夜の世界には、ケータイ、スマホが必ず一役買っていることは間違いありません。

ゲームの問題もありました。いわゆるゲーム脳も大きな課題です。仮想であれ、戦闘場面の時間を長く過ごす、瞬時の操作が求められるなど、日常の人間の生活と違う脳

の使い方を小さいときからしていると、現実とネットの世界を混乱してしまったり、例えば、人間もリセットボタンを押すと復活するの信じてしまうようなことも実際にあるようです。また、闘争心が強く、「悪い奴はぶっ殺してしまえ。」みたいなことが子どもの判断基準として、育ってしまうこともあります。

私たちの次の世代を担っていくのは今の子どもたちです。人間関係の希薄化が社会問題になっている中、意図的にでも子どもたちが、いろんな人と出会い、いろんな優しさを受け、いろんな優しさをあげる、そんな場面を作っていくことが、急務と考えます。子どもを育てるのは、親や学校はもちろんのこと、地域社会で子どもたちを育てるということをより真剣に考える時代だと私は思います。

2023年11月25日 佐々木 朗

